

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

事業名 スポーツ推進審議会・県民会議開催費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

清流の国推進部 地域スポーツ課 スポーツ企画係

電話番号：058-272-1111 (内 2949)

E-mail: c11172@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 558 千円 (前年度予算額： 75 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	75	0	0	0	0	0	0	0	75
要求額	558	0	0	0	0	0	0	0	558
決定額	558	0	0	0	0	0	0	0	558

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

岐阜県スポーツ推進審議会条例(平成23年岐阜県条例第41号)第1条の規定に基づき、スポーツの推進に関する重要事項を調査審議するため、岐阜県スポーツ推進審議会が設置されている。また、岐阜県清流の国スポーツ推進条例(平成25年岐阜県条例第29号)第16条の規定に基づき、スポーツの推進に関する施策について広く県民の意見を聴取するため、岐阜県スポーツ推進県民会議が設置されており、令和4年度に同審議会及び同県民会議を開催するために必要な費用を要求するもの。

平成24年にぎふ清流国体・ぎふ清流大会が、令和3年度には東京2020オリンピック・パラリンピックが終了したが、これら大会を通じて県民の間で高まったスポーツへの関心を、今後も根付かせるとともに、令和4年3月に策定予定の「第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画」により、本県のスポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進していく。

(2) 事業内容

① 審議会の開催

- ・開催時期（予定） 計2回（令和4年11月、令和5年2月）
- ・審議事項（予定）
本年度の県スポーツ推進施策の成果等
次年度における県スポーツ推進施策内容等

② 県民会議の開催

- ・開催時期（予定） 計2回（令和4年11月、令和5年2月）
- ・意見聴取事項（予定）
本年度の県スポーツ推進施策の成果等
次年度における県スポーツ推進施策内容等

（3） 県負担・補助率の考え方

条例に基づき、本県のスポーツ推進に関する重要事項を調査審議するとともに、スポーツ推進施策について広く県民から意見聴取するため設置した審議会及び県民会議であり、その開催経費を県として負担することは妥当である。

（4） 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	357	
旅費	150	費用弁償
需用費	31	資料代、委員飲物
役務費	20	案内郵送費等
合計	558	

決定額の考え方

4 参考事項

（1） 各種計画での位置づけ

- ・スポーツ基本法 第31条 スポーツ推進審議会等の設置
- ・岐阜県スポーツ推進審議会条例
- ・岐阜県清流の国スポーツ推進条例

（2） 後年度の財政負担

県のスポーツ推進施策を効果的に進めるため、次年度以降も継続して開催していく。

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 県民一人一人が生涯にわたり、スポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、明るく健康で心豊かな県民生活の形成と活力ある地域社会の実現を目指し、「生涯スポーツ社会」を実現するため、県のスポーツ推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
① 成年のスポーツ実施率	-	33.8%	61.5%	65%	65%	52.0%
②						%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	令和2年11月6日、岐阜県スポーツ推進審議会を開催。15名の審議会委員が出席し、県スポーツ推進施策の成果と課題の報告次年度における県スポーツ推進施策内容を審議した。当該年度のスポーツ実施率は新型コロナウイルスの影響を受け、33.8%と前年から大幅な減となった。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加 <hr/> 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価)	東京 2020 大会成果の継承・発展や、新たなスポーツ推進計画に基づく施策実施に対する審議の必要性は増している。
3	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない 	
(評価)	各分野の専門家からの具体的な助言はスポーツ施策を推進するうえで極めて有効であり、現在策定中の第2期清流の国ぎふスポーツ推進計画にも活かされている。
2	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価)	できる限り少ない開催回数で、県のスポーツ推進に関する施策を計画的に実施できるようにしている。
2	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 審議会・県民会議委員の人選及び審議会・県民会議で得られた委員の助言・提言の実現性

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 次年度以降も継続して開催していくことで、生涯スポーツ社会の推進を進めていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	